

ごみ減量に関する市民アンケート結果および指定ごみ袋の導入について

今年度実施しました市民アンケートの結果および今後の指定ごみ袋導入の進め方について報告します。

1. ごみ減量に関する市民アンケートの結果について

無作為抽出の市民と、今年度実施したワークショップ参加者に対してアンケートを行いました。

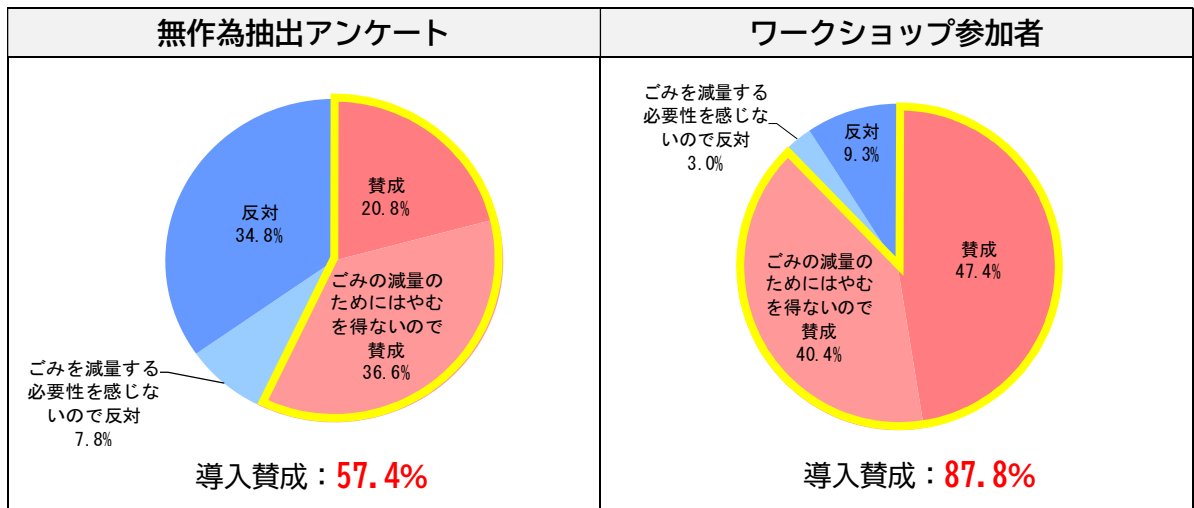
① 調査概要

	無作為抽出アンケート	ワークショップ参加者
調査期間	2024 年 8 月 30 日～9 月 20 日	2024 年 8 月 19 日～10 月 19 日(全 9 回※)
標 本 数	1,300 人(13 中学校区×100 人)	303 人(ワークショップ参加者)
調査方法	配付:郵送 回収:WEB、郵送	配付:ワークショップ開催時 回収:現地、WEB、郵送
回 収 数	557 人(回収率:42.8%)	299 人(回収率:98.7%)

※模擬ワークショップ含む

② アンケート結果抜粋（未回答含まない）

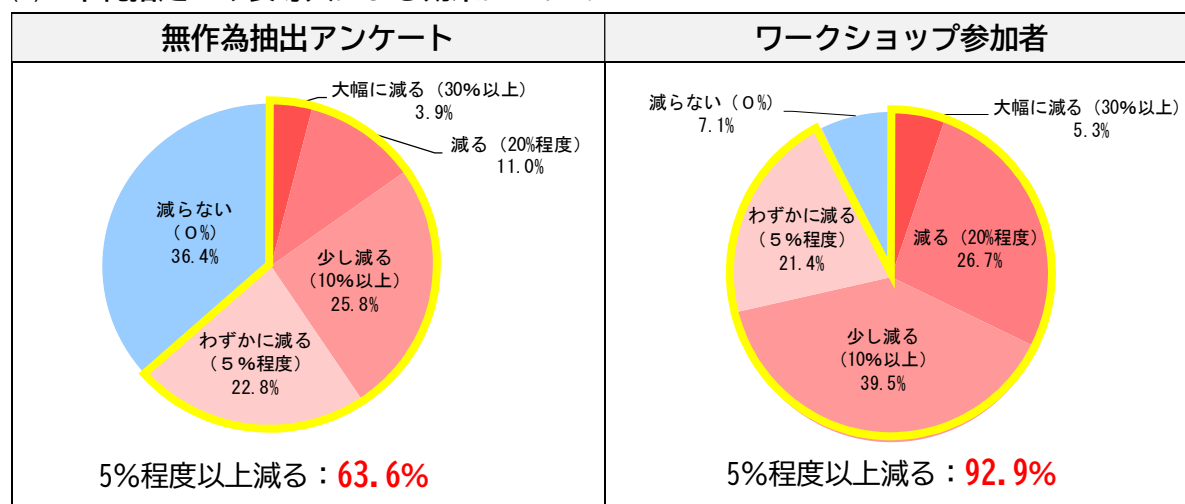
(1) 単純指定ごみ袋を導入することについて



単純指定ごみ袋の導入について、無作為抽出アンケートでは半数以上が賛成という結果になりました。反対の理由としては、「袋代が高くなる」「効果が期待できない」が多くなっており、単純指定ごみ袋に関する説明をした後にアンケートを実施した、ワークショップ参加者においては、約 9 割の方が賛成となりました。

また、アンケートおよびワークショップの中で、単純指定ごみ袋は 45ℓだと大きすぎるため、小さいサイズの袋も検討してほしいとの声がありました。

(2) 単純指定ごみ袋導入による効果について



「単純指定ごみ袋が導入された場合、ご家庭の「燃やせるごみ」は、どれくらい減ると思いますか。」との質問に、5%程度以上減ると答えた割合が、無作為抽出のアンケートで 63.6%、ワークショップの参加者で 92.9%となりました。

アンケート結果をもとに推計すると、単純指定ごみ袋を導入することで家庭系の「燃やせるごみ」を約 3,678t/年(約 8.8%)減量する効果があると推計されました。

2. 単純指定ごみ袋の導入について

アンケートの結果を踏まえ、当市においても単純指定ごみ袋の導入検討を進めてまいります。

導入する袋は、市民負担も考慮し、「燃やせるごみ」のみとし、アンケートおよびワークショップで意見のあったサイズについても 3 種類程度(例.45ℓ、30ℓ、15ℓ)展開できるよう検討します。

また、「資源ごみ」「燃やせないごみ」については、分別マナーの向上および収集作業の安全性を確保するため、袋の中身がはっきり見える「透明」に限定する方向で検討します。

なお、単純指定ごみ袋のデザインについては、市民アンケートを実施し、市民の皆さまに親しまれるデザインになるよう努めてまいります。

3. スケジュール案

R7 年 3 月	3 月議会 生文委員会報告
R7 年 3 月～4 月	条例改正パブコメ
R7 年 6 月	6 月議会 条例改正案提案
R7 年 7 月 ～R8 年 3 月	指定ごみ袋市民説明会・指定ごみ袋デザインアンケート
R8 年 9 月 ～R9 年 2 月	指定ごみ袋移行期間(6 ヶ月)
R9 年 3 月～	指定ごみ袋本格導入

4. 参考資料

明石市のごみ減量に関する市民アンケート結果報告(無作為抽出・ワークショップ参加者)
明石市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正(素案)について